

令和4年度進行管理・評価シート
桐生市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和5年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策	2
2 景観計画による景観誘導等	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 伝統的建造物公開活用事業	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
3 伝統的建造物保存修理事業	6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業	7
5 本町通り整備事業	8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	9
7 景観阻害物調査改善事業	10
8 伝統産業周知啓発事業	11
9 伝統産業保護育成事業	12
10 地場産業振興事業	13
11 織物体験事業	14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業	15
13 無形民俗文化財伝承支援事業	16
14 歴史まちづくり推進啓発事業	17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業	18
16 歴史的建造物調査活用事業	19
17 文化財保存活用地域計画等策定事業	20
18 歴史文化資料公開事業	21
19 文化財案内標識整備事業	22
20 観光案内等情報提供事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現況について	24
2 文化財の修理に関する取組み	25
3 文化財の防災に関する取組み	26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 市民団体等との連携について	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
計画の推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
歴史的風致維持及び向上を推進のために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県との関係機関との協議を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

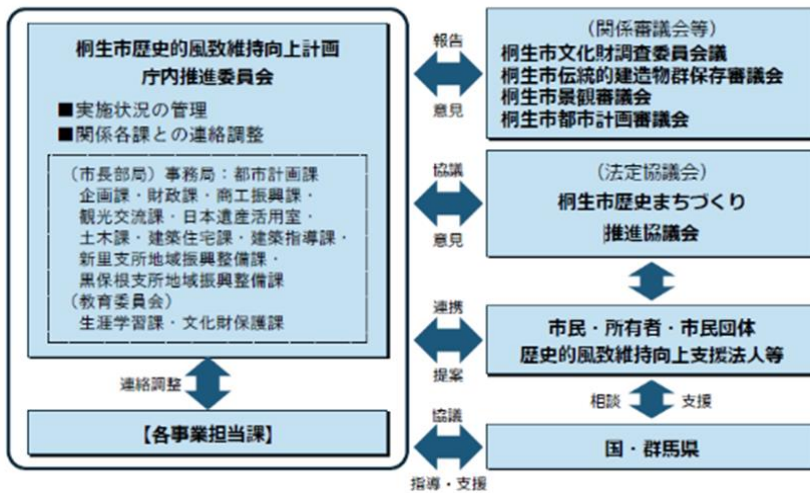
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更、進行管理評価シート、中間評価シートに関する意見聴取を踏まえ、「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を令和4年7月21日、令和5年3月6日に開催し、法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を令和4年8月19日、令和5年3月22日に開催した。どちらの会議も、新型コロナの影響で約2年ぶりの対面開催となり、会議時間の短縮や座席の間にパーテーションを設置する等の感染症対策を行いながらの開催となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	法定協議会において、委員の任期満了に伴い新たに委員となった方への各事業や制度等に関する説明方法が課題となっている。今後は、会議開催前に新たに委員となった方へ会議資料等を持参し、各資料の説明を行う等の対応を検討していきたい。また、会議の効率化を図るため、各委員の意見を事前に集約出来るような取り組みも併せて検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



桐生市歴史まちづくり推進協議会開催の様子 (R4. 8. 19)

○第16回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (令和4年7月21日開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第17回桐生市歴史まちづくり推進協議会 (令和4年8月19日開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第17回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (令和5年3月6日開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について
- ・中間評価シートについて

○第18回桐生市歴史まちづくり推進協議会 (令和5年3月22日開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について
- ・中間評価シートについて

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
都市計画に関する施策		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

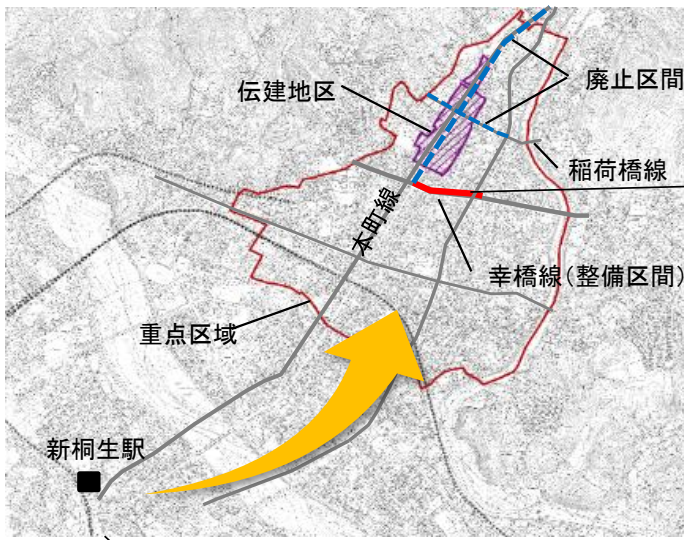
- 重点区域は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図るとしている。
- 都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新桐生駅における一連の事業が完了したことで、景観や利便性が向上したが、玄関口として今後周辺地域を含めた活性化やまちなかへの円滑な誘導に繋げていくため、今後関係部局や団体等と具体的な施策を検討していく。

状況を示す写真や資料等



位置図

※新桐生駅前広場整備は令和3年度末に完了

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
景観計画による景観誘導等		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
 桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、良好な景観形成のため規制誘導を実施した。市域全体を景観計画区域とし、対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言を行い景観誘導を図った。
 本年度届出件数:29件(令和4年12月28日現在)のうち、重点区域内4件・歴史景観ゾーン内0件
 ・多くの方に景観を意識し、考えていただく機会とするため、令和5年2月16日に景観講演会を美喜仁桐生文化会館シルクホールで開催し、「ジャズのある風景in桐生」をテーマに、桐生市出身のジャズピアニスト山中千尋さんにご講演いただいた。また、関連イベントとして、山中千尋さんのパネル展を、市役所1階市民ロビー(令和5年1月10日~2月7日)及び美喜仁桐生文化会館(講演会当日)で開催した。
 新型コロナ禍ではあったが、感染症対策のため、座席間に余裕を持たせたり、手指消毒やマスク着用を徹底する等の感染症対策を行いながらの開催であったが、平日にも関わらず470名の方が参加し、桐生市の景観行政について理解を深めていただいた。
 ・群馬県のYoutubeチャンネル「tsulunos ~群馬県公式~」で県内市町村の景観の写真やまちづくりの取り組みについて配信している「ぐんま景観・まちづくり展」にて、桐生市の日本遺産や景観講演会等を紹介したほか、動画配信に関するチラシの作成及び配布を行い、広く周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない
 講演会について、対面で開催することでより共感を得られやすいと考えられるので、感染症対策を講じながら、今後も対面で開催出来るよう、関係者と調整していきたい。また、当日参加できなかった人に向け、講演会の様子を収録し、後日配信できるように検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



景観講演会チラシ



景観講演会、パネル展の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成28年度～令和8年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容	地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○重伝建地区公開活用施設整備工事の実施
 令和4・5年度の2年かけ行う工事の1年目の工事を行った。
 ○重伝建地区公開活用施設修理委員会の開催
 2回開催し、整備工事の施工方法等について指導助言をいただいた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	課題としては、施工方法等の疑問点があるが、修理委員会の先生方より指導助言いただき、工事に反映することで進めている。また、地元住民に対しての施設の周知については、現場見学会の開催や、工事の状況等について伝建群だよりでお知らせを行っている。

状況を示す写真や資料等

- 重伝建地区公開活用施設整備工事の実施
 - 工期: 令和4年5月6日から令和6年2月28日まで
 - 場所: 桐生市本町一丁目7番4号
 - 1年目の主な工事内容:
 - ・柱や梁などの傷んだ部分の修理
 - ・建物の傾きを戻す修理
 - ・土壁の下地(荒壁)を作る左官工事
 - ・耐震補強工事
 - ・屋根工事



工事状況 外部

- 重伝建地区公開活用施設修理委員会の開催
 - 【開催概要】
 - 第4回
 - ・開催日 令和4年8月3日(水)午後2時から
 - ・場 所 美喜仁桐生市文化会館 国際会議室
 - ・議 題
 - ・工事の進捗状況について
 - ・基礎の施工方法について
 - ・その他
 - 第5回
 - ・開催日 令和5年1月19日(木)午後3時から
 - ・場 所 桐生市役所 新館5階 501会議室
 - ・議 題
 - ・工事の進捗状況について
 - ・水路遺構の石について
 - ・地上機を囲う板塀について



工事状況 内部



伝建群だよりの仮囲いへの掲示



修理委員会の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の意識付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・計画書記載の歴史的風致形成建造物候補18件のうち、下記の3件の建造物を指定し、桐生市長から所有者へ指定標識の授与を行った。なお、指定標識は、歴史的風致である桐生織の技術により、その指定建造物を背景に織り込んだ桐生織標識を採用した。

指定にあたっては、これまで市から所有者へ相談を行っていたが、今年度は、指定建造物のうち1件について、所有者から直接相談があったことで指定へと繋がりと、その他の2件についても、本市の歴史まちづくりに対し理解をいただけており、大きなトラブル等なく指定を行うことで同意を得ることが出来た。これらのことから、本市の歴史まちづくりに対する取り組みが徐々に浸透してきていると思われる。

●令和4年度指定建造物(指定日:令和5年2月9日)

指定第12号「桐生倶楽部会館」、指定第13号「後藤織物」、指定第14号「森島家住宅及び森秀織物工場」

※これまでの指定件数・・・計14件(H30年度:3件、R元年度:3件、R2年度:2件、R3年度:3件、令和4年度3件)

・指定第7号「旧細谷家住宅」を紹介する動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネル「桐生市チャンネル」で配信した。

動画の作成は、新型コロナの影響により外出が自粛され需要が高まっていることから、これまで歴史まちづくりに興味を持っていない層への周知や建物の保存と活用の機運醸成を図るための手段として令和2年度から行っており、指定順に作成、配信を行っている。

配信にあたっては、市のSNSやふれあいメール等のほか、桐生市観光物産協会HPに動画配信先のバナーリンクを設置し広く周知を行っている。また、歴史的風致形成建造物の紹介については、動画のほか市Facebookへ建物を紹介する記事を投稿し、周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・歴史的風致形成建造物の外観修景等における補助制度の施行が整っておらず、現在担当部局と調整を行っているが、令和5年度に都市再生整備計画(第1期)が満了することから、第2期計画中に補助制度が施行出来るよう引き続き調整を行っていく。また、動画作成について、現在は担当者が個人のスマートフォンを利用して行っているが、担当者のスキル等によりクオリティが左右されることから、より安定的に高いクオリティの動画の作成、配信を行うため、専門事業者への委託を検討している。

状況を示す写真や資料等

●令和4年度指定建造物



指定第12号「桐生倶楽部会館」



指定第13号「後藤織物」



指定第14号「森島家住宅及び森秀織物工場」



●令和4年度指定標識授与式の様子(R5.2.9 特別応接室)



●令和4年度作成動画(サムネイル画像)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和8年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容	桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

2件の保存修理事業、1件の修景事業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要なため、実施した修理修景についての情報共有等について検討していきたい。 ・保存修理を行う技術者の確保(養成)が必要なため、現場見学会等行いたい。

状況を示す写真や資料等

○保存修理事業の状況

【令和4年度実施 保存修理事業1】



修理前状況



工事状況

【令和4年度実施 保存修理事業2】



修理前状況



修理後状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
伝統的建築物保存技術継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用の促進に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区公開活用施設整備工事の現場において、協同組合群馬県建築設計センター主催により現場研修会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たな研修参加者が見込めないため、現場見学会等で伝統工法を知ってもらう機会等をもうけていきたい。
--	--

状況を示す写真や資料等

- 開催日 令和4年12月16日(金)午後1時30分～
- 場 所 重伝建地区公開活用施設
- 主 催 協同組合 群馬県建築設計センター
- 参加者 28名



研修会の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
本町通り整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和5年度
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容	桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 下水道本管の移設工事を実施(施工場所:本町通り西側車道下 工事期間:R1年度～R4年度)
- 区画線視認性を確認するための実証実験の実施
- 電線類地中化工事を実施(工事期間:R1年度～R5年度)
- 防犯灯の現地試験の実施
- 電線共同溝事業説明会(地元説明会)の開催(本町1丁目町会、本町2丁目町会において各1回開催)
- 試験舗装を実施(施工場所:本町1丁目地内の一部)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 工の実施に伴う、地元や関係機関との調整が課題であり、事業期間内に完了するよう調整に努める。
--	---

状況を示す写真や資料等

○区画線視認性を確認するための実証実験の実施(令和4年4月実施)
本町通りの外側線などの路面標示の材料として検討していた御影石、【区画線視認性を確認するための実証実験】インターロッキングについて、夜間の視認性を確認する実証実験を関係機関(桐生土木、桐生市、群馬県警など)と合同で実施した。



実証実験の様子

○防犯灯の現地試験の実施(令和4年9月実施)
防犯灯について、照度や明るさの広がり具合などを確認する実験を桐生土木、本町一丁目町会、本町二丁目町会の役員、桐生市と実施した。

【防犯灯の現地試験】



照度:低



夜間走行時の視認性の確認



照度:中

●本町通り 道路空間計画イメージ



整備前



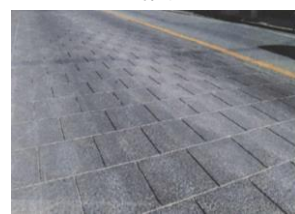
整備後



照度:大



全景



拡大

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成31年度～令和8年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業

計画に記載している内容 周辺景観に配慮した市道の美化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるよう周辺環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内随一の来訪者数を誇る桐生が岡公園と近接する重伝建地区の回遊性を向上させるため、社会資本整備総合交付金を活用し、これまで、桐生が岡公園周辺整備を行っており、今年度は、山手通りに設置されている山手横断歩道橋の美化等に伴う設計委託業務及び美化等整備を実施した。その他、藤棚広場の整備や歴史的風致形成建造物を案内する情報板を設置する予定であったが、資材高騰等の理由により令和4年度中の実施が困難となったため、令和5年度に実施することとした。
 ・桐生が岡公園に設置されている遊鳳舎について、老朽化の影響による改修工事を実施した。改修工事を実施するにあたり、現在の建築基準に適合させ、外観を損なわないよう配慮した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	桐生が岡公園周辺整備について、都市再生整備計画の計画期間が来年度末までであるため、事前調整や確認を徹底し、予定されている事業を計画期間内に終わらせるよう進めていく。

状況を示す写真や資料等



山手横断歩道橋(現状)



山手横断歩道橋(整備後イメージ)

山手横断歩道橋美化整備



遊鳳舎(現状)



遊鳳舎改修工事(図面)

遊鳳舎改修工事

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
景観阻害物調査改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。

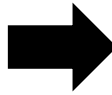
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・毎年度、改善路線を定め、対象路線及び市内主要交差点などに設置されている基準に適合しないものや未手続の違反広告物を表示する広告業者・広告主・都市所有者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。令和4年度改善路線は、県道68号線桐生伊勢崎線沿い(みどり市との行政境 競艇場東側交差点～国道122号線 相生町一丁目交差点までの区間)の違反屋外広告物の改善要請を行った。
 【指導件数:30件(令和4年12月31日現在)】
 ・違反広告物把握のため定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成28年度から屋外広告物条例に基づく指導を行っているが、まだ周知されていないと感じる。指導対象者に改善をお願いしやすくされるためにも、屋外広告物条例の周知が課題である。周知が進めば、違反広告物は減り、景観の向上へ繋がるため、景観講演会や改善指導を通じ周知に努める。

sy

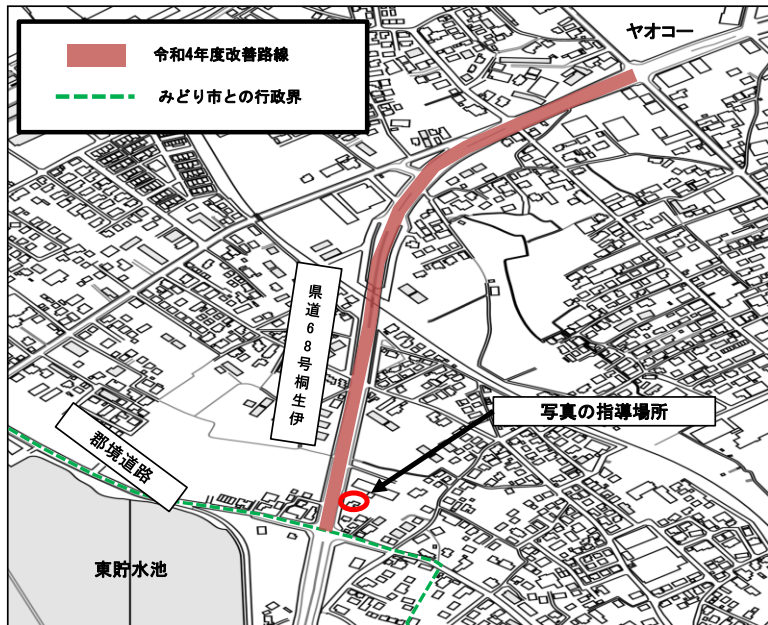


指導前



指導後

・許可基準に違反している広告物を撤去した。



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
伝統産業周知啓発事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施したほか、日本絹の里(高崎市)において特別展「桐生織の伝統工芸士展～伝統と創造～」を実施し、桐生織の歴史や技術の変遷を広く周知することができた。また、市のホームページには、桐生織物の製造工程の詳細や動画を継続掲載した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	常設展示の一部の資料において、QRコードを利用した動画や音声での説明を開始、今後もスマートフォンが普及している現代に合った効果的な展示方法を積極的に取り入れていく。		
状況を示す写真や資料等			

織物資料室企画展



「ゆかた帯・ゆかた展」



「テキスタイルの現場から」



日本絹の里 特別展
「桐生織の伝統工芸士展 ～伝統と創造～」



市のホームページには製造工程も掲載

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
伝統産業保護育成事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和39年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業を保護・育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合や桐生刺繍商工業協同組合に対し補助を行った。補助金名称:需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)(刺繍展)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

夏物と比較すると受注量の少ない秋冬関連の需要を高めるため、上半期の展示会を増やした。年間通じて安定した生産ができる受注の確保が課題である。

状況を示す写真や資料等



桐生織物織姫展(12月京都展)



桐生テキスタイルコレクション(10月東京)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
地場産業振興事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和62年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する運営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

運営費の補助を行うと共に、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー)、後継者育成を目的とした繊維大学など各事業に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存の取引先や新規企業との商談等のため展示商談会を開催した。繊維業界は高齢化・人材不足のため若手従事者の人材育成が必要であり、国内消費の低迷や海外製品と渡り合うためには情報収集や産地桐生のPRが課題である。

状況を示す写真や資料等



繊維大学の様子



トレンドセミナーの様子



テキスタイルプロモーションショーの様子

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
織物体験事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス対策を講じながら、市内全小学校の3年生または4年生に対し、桐生織物の歴史や絹織物の仕組み、特性、技法、原材料などについての学習と手織り体験を実施した。講師は、桐生織を知り尽くした桐生織伝統工芸士が担当した。各学校に手織り用の織機を搬入して手織り体験を行い、また各学級でDVDを視聴後、機結びの実習をした。桐生織について実際に製品や織機に触れて学んだ。(市内15校 約650名)
 市内の中学校特別支援学級に所属する生徒が工房「風花」に集まり、1年に4回、回転整型式手織機「フラミンゴ」を使用し、手織り体験を行い、一人1作品のコスターなどを制作した。(生徒のべ約60名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

感染対策を講じながら、安全に体験ができるように、消毒や人数の構成を配慮しながら実施していく必要がある。桐生織伝統工芸士の参加調整が時期によっては厳しい。伝統工芸士の参加できる日と学校の予定を調整し、日程を決定していく。

状況を示す写真や資料等



手織り体験の様子



学級での機結び体験

〈学校からのアンケートより〉

○織物体験をとっても楽しみにしており、動画等で見て学習したことを実際に体験することができ、より身近に織物のよさに気付いたようだった。

○本や図鑑に載っている有名な伝統工芸士さんから直接教わることができ、子どもたちはとても驚いていた。また、「桐生織」に関わる仕事の楽しさや大変さを聞くことができたので、伝統工芸士さんの伝統文化に携わる気持ちまで知ることができた。

○秋の校外学習で10月に織物参考館「紫」に行った時には、代表の児童が機織り機で織る活動をした。今回は、全員の児童が体験できたことが児童の意欲につながった。実際に体験したことで、桐生の機織りに興味をもつことができた。

○機結びを体験する際に、わかりやすく説明されたDVDの映像を参考にすることができたので、多くの児童が自力で機結びを行うことができた。

○児童は、初めて見る織機に興味を示していた。織機のいろいろなことが気になり、たくさん質問をしていた。実際に体験した時には、機織りに集中して取り組み、楽しそうな様子が見られた。

○興味をもって楽しく機織り体験をすることができた。伝統工芸士の方々の丁寧な指導により、つまづくことなく機織り機の操作を理解した。体験し始めてまもなくは、シャトル、緯糸、ペダルの操作に時間がかかる児童も見られたが、複数回緯糸を通す活動を通して、スムーズに扱えるようになった。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
祇園屋台・鉦伝承活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～令和8年度
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容
 江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉦の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や常設展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・屋台や鉦の修理事業が令和3年度で終了したため、令和4年度に事業(平成29年度～令和3年度)の総括評価の実施
 ・本町四丁目祇園囃子保存会による祇園囃子の練習会(計8回)及び発表会(計1回)の実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・桐生祇園祭を後世に伝え継続していくため、祇園屋台の組み上げ及び修理ができる技術者や祇園囃子の演奏者及び指導者の育成を行い、裾野を拡大していくことが必要である。

状況を示す写真や資料等

● 祇園囃子の練習会の様子



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。
 指定・登録に該当するような文化財があれば事前に調査を実施し、記録保存も行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後も、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存について引き続き実施していく。

状況を示す写真や資料等



白瀧神社太々神楽



賀茂神社太々神楽

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況
歴史まちづくり推進啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史文化資産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を遂行できるまちづくり団体等の設立を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・本市固有の歴史や文化に対する理解を深め、歴史まちづくりを推進していくため、新型コロナの影響により開催が出来なかった歴史まちづくり講演会を、感染症対策を講じながら、以下のとおり開催した。今年度1回目の講演会では、今年度歴史的風致形成建造物の指定を行った「桐生倶楽部会館」と会館を拠点に活動する「桐生倶楽部」の歴史等について講演をいただいたほか、講演会終了後に一般社団法人桐生倶楽部のスタッフによる館内見学会が行われ、実施後のアンケートでは、「見学出来て良かった」、「勉強になった」等、お褒めの言葉を多数いただいた。2回目の講演会では、平成28年度、平成30年度と2回にわたり講師を務めていただいた市史編さん室の小野里係長を講師に招き、本市の町立てについて講演をいただき、こちらも、実施後のアンケートで多数のお褒めの言葉をいただき、歴史まちづくりに対する市民の意識向上等へ繋げることが出来た。

①テーマ:「桐生倶楽部と桐生倶楽部会館について～まちとともに103歳の現役会館～」

会場: 桐生倶楽部会館2階大広間

講師: 一般社団法人桐生倶楽部村田理事

参加者数: 24名(申込者数29名)

②テーマ「桐生の町立てについて」

会場: 有鄰館煉瓦蔵

講師: 桐生市市史編さん室小野里係長

参加者数: 42名(申込者数50名)

・講演会へ参加できなかった方や市の取り組み等を広く周知するため、今年度開催した桐生市歴史まちづくり講演会の様子を、市のYoutubeチャンネルで配信した。配信にあたっては、外部事業者へ委託等を行わず、市職員が所有するスマートフォンを使用し撮影する等、配信までの作業を全て職員で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

講演会について、今年度のテーマがどちらも重点区域内の歴史的風致に関するものであったため、次年度以降は、重点区域以外のテーマを設定し、点在する歴史的風致を市民に知ってもらえる機会となるような内容を企画していきたい。

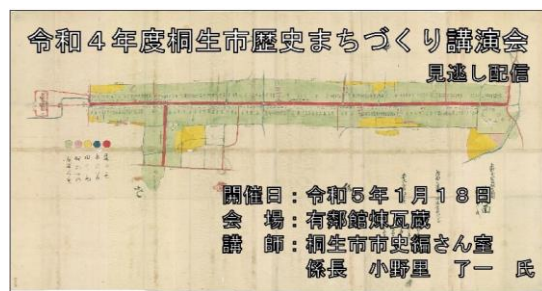
状況を示す写真や資料等



歴史まちづくり講演会の様子



歴史まちづくり講演会の様子



講演会の動画配信(サムネイル)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
「桐生を好きな子供」を育てる事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な活動体験を行い、郷土愛を育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、各学校や幼稚園をはじめ全庁的に実践し、それらを報告書にまとめた。その中で、桐生の歴史や文化に関連する事業39件を実施した。(令和3年度から事業の分類区分を変更。)
 ・子どもが地域の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習等を行う「放課後子供教室」において、昔遊びを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する。

状況を示す写真や資料等



図書館 桐生に伝わる民話を聞こう



放課後子供教室 紙飛行機を作って飛ばそう!



彦部家住宅 タケノコ掘り、草木染め
 (未来創生塾)



日本遺産ガイド「MAYUでめぐる桐生」
 (未来創生塾)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域固有の歴史的資源である歴史的建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致形成建造物の指定候補物件について、職員による所有者への聞き取りや現場確認等の簡易的な調査を行った。新型コロナの影響もあり、マスクの着用や手指消毒等の感染症対策を講じながら調査を行うことになったが、実際に現場を見ることで、建物の歴史等を肌で感じながら、所有者との意見交換を行うことが出来た。
 ・空き家・空き地バンクの、相談件数は物件提供と移住相談を合わせて320件、成約件数は40件程度の見込みである。空き家については、実際に内覧しているような情報が得られるよう動画による紹介を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・引き続き、所有者と意見交換を行う等の連携を図りながら、相談体制の構築に向けた検討を進めていく。
 ・バンク物件に掲載することにより不特定の人が購入するというイメージが、古民家所有者の不安となり該当地区の物件は増えていない。古民家の保存し活用をすることへの住民理解や物件の情報収集などが必要と考える。

状況を示す写真や資料等



空き家バンク動画(サムネイル)



現地調査の様子

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財保存活用地域計画等策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に存在する文化財を総合的に把握し、その保存及び活用に関する基本的な方針を定める「文化財保存活用地域計画」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「文化財保存活用地域計画」策定に向け、指定・未指定を問わず地域に存在する文化財を的確に把握するための調査の実施についての検討を行った。
 ・市史編さんについて、新しい市史を編さんする基本方針及び基本計画を定めた『新編 桐生市史』編さん基本計画」を策定した。また、分野ごとに部会を設置し、令和5年度からの本格的な調査研究に向けた準備を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・「文化財保存活用地域計画」策定に必要な文化財の保存と活用に関する課題・方針・措置について検討する。
 ・市史編さんは、前回の『桐生市史』ほか、既刊の自治体史に採録された史資料の現状把握に着手し、あわせてこれまで把握できていない史資料についても情報収集を進めたい

状況を示す写真や資料等



桐生市史編さん審議会の様子



桐生市史編集委員会の様子

『新編 桐生市史』刊行スケジュール

巻	刊行物	年度															
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	
1	資料編『原始・古代』									執筆等	刊行						
2	資料編『中世』									執筆等	刊行						
3	資料編『近世1』									執筆等	刊行						
4	資料編『近世2』									執筆等	刊行						
5	資料編『近現代』									執筆等	刊行						
6	通史編『原始・古代・中世』									執筆等						刊行	
7	通史編『近世』									執筆等						刊行	
8	通史編『近代』									執筆等						刊行	
9	通史編『現代』									執筆等						刊行	
10	特別編『自然』									刊行							
11	特別編『民俗』									執筆等						刊行	
12	特別編『郷生の織物』									執筆等						刊行	
13	特別編『文化とスポーツ』									執筆等						刊行	
14	特別編『建造物』									執筆等						刊行	
15	特別編『絵図・地図・写真』									執筆等						刊行	

『新編 桐生市史』刊行スケジュール
 (『新編 桐生市史』編さん基本計画)より抜粋)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史文化資料公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・桐生市立図書館所蔵の絵図面や古典籍のデジタルデータを作成し、その一部を群馬県立図書館HPの地域資料デジタルコレクションサイト上で公開した。また、図書館所蔵の古文書を紹介するデジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」を、桐生市立図書館HP上で公開した。

・郷土資料調査事業では、桐生の野球史について木本富雄氏から聞き取り調査を行い、令和3年度に実施した14代目金子太郎兵衛にあたる金子義明氏と、後藤織物会長の後藤隆造氏から聞き取り調査の結果と合わせて報告書を作成・刊行した。

・幕末に桐生新町の町役人(組頭)を務めた、新居喜左衛門の役用日記の調査を進め、その成果として『新居喜左衛門役用日記(三)原文編』を作成・刊行した。

・桐生明治館において本市の歴史文化に係る資料の展示を行った。

・「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめ市内の近代化遺産30施設の一斉公開を実施した。

・富岡製糸場西置繭所にて繊維関連施設の近代化遺産の紹介や帯地、上州座繰器、紋紙、ジャカード機などの道具を展示した。入場者は延べ19,648人だった。

・絹襷記念館では、本市の歴史文化に係る資料展示の他、絹襷記念館の企画展として、「絹が通った粋な“通り”乙な“路地”」展や「桐生はアートでできている」展、「前原悠一郎生誕150年記念 前原悠一郎と日本絹襷と桐生」を実施した。

・桐生歴史文化資料館への運営費補助金、企画展のふれあいメールでの周知(1回)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・歴史文化に関する資料の公開活用は、今後も企画展など工夫しながら引き続き実施していきたい。 ・子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく。 ・桐生市立図書館所蔵の絵図面や古典籍のデジタルデータを群馬県立図書館HPの地域資料デジタルコレクションサイト上で公開、また、デジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」を桐生市立図書館HP上で公開をしているが、より多くの人に見てもらえるように周知を図る必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

近代化遺産の日記念事業「近代化遺産全国一斉公開 2022 in 桐生」
桐生明治館他の30施設を紹介



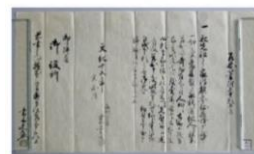
「近代化遺産全国一斉公開2022in桐生」ポスター



須藤家住宅 特別公開

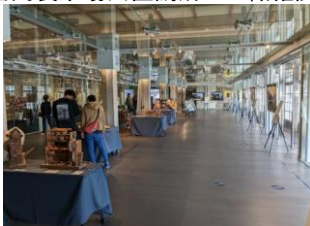


「赤岩切所普請絵図」
明治6年に行われた赤岩切所普請の様子を描いたもの

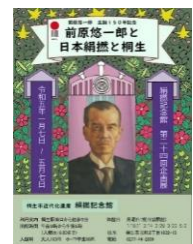
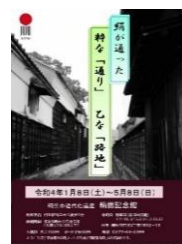


デジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」

近代化遺産の日記念事業「繊維が結ぶ近代化遺産」
富岡製糸場西置繭所での繊維関連の施設紹介と道具の展示



「繊維が結ぶ近代化遺産」会場の様子 「繊維が結ぶ近代化遺産」チラシ



絹襷記念館記念館企画展のチラシ

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財案内標識整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和40年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業、ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金

計画に記載している内容 市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定史跡谷津館跡、市指定重要文化財常広寺の弁財天堂、国指定重要文化財塔婆(山上多重塔)、県指定史跡山上城跡の文化財導入板の修繕を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 優先順位を考慮しながら進めていきたい。

状況を示す写真や資料等



谷津館跡 導入板修繕



常広寺の弁財天堂 導入板修繕



山上多重塔、山上城跡、常広寺の弁財天堂 導入板修繕

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存又は活用の現況について		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
 適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「文化財保存活用地域計画」の策定を進め、適正な保存活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・国、県、市の指定文化財の現状及び管理状況調査を実施したほか、所有者・管理者あてに管理状況等の指導・確認を行った。
 ・群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロール報告の指摘物件については、所有者・管理者あてに改善を依頼。
 ・文化財建造物である市有施設の桐生明治館では、本市の歴史文化に係る資料の展示や企画展を開催し、適切な管理・活用を図った。
 ・有料観覧施設である絹襷記念館では、桐生の歴史文化に係る資料の他、企画展なども開催している。また、有鄰館では、絵画や写真などの作品展や文化活動の発表の場とするなど、様々な催しを開催し適切に活用している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・文化財の保存・活用にあたり、安全対策や公開方法等を引き続き検討する。 ・文化財に対し多くの方が親しみを持ってもらえるような企画展やイベントなどを検討する。

状況を示す写真や資料等

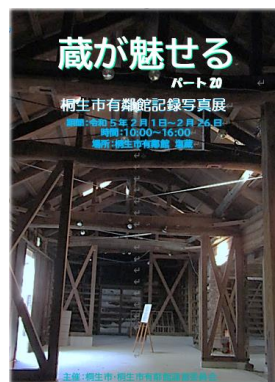


賀茂神社のモミ群



桐生城跡日枝神社のクスノキ群

文化財調査委員・職員による現状確認調査



有鄰館イベントチラシ

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の修理に関する取組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財ともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほかに景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においてはこれまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・県指定史跡の彦部氏屋敷では、補助事業にて史跡内の枯れマツ伐採作業を実施した。
 ・市指定重要文化財の桐生倶楽部会館では、5ヶ年事業として外壁・開口部・屋根等の修理工事を行っている。本年度は4年目で北側外壁、窓・扉等の開口部、軒周りの修繕を実施しているが、修理方法・方針等、随時助言・指導を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・指定及び登録文化財の現状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく。

状況を示す写真や資料等



彦部氏屋敷 枯れマツ伐採



桐生倶楽部会館 北側外壁等修繕

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・毎年、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、令和4年度は「鳳仙寺」で実施した。
- ・重要文化財である彦部家住宅については、防火対策として消防ポンプ、火災報知設備、避雷設備等の各種点検を行い、初期消火等訓練を実施した。
- ・伝建地区では、火災発生の早期発見、早期通報を図るべく地区内の建物に設置した、無線式連動型住宅用火災警報器の作動試験を実施(予定)。また、地区住民の災害に対する認識など防災意識の向上のため防災イベントを実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・防災訓練の実施方法等を検討し、毎年訓練を行う。 ・伝建地区では、地区住民の高齢化が進んでおり、災害時の対応など地域の体制を強化することが課題となっている。

状況を示す写真や資料等



鳳仙寺 防火訓練



彦部家住宅 防火訓練

●令和4年度重伝建地区防災イベント

【開催概要】

- ・開催日 令和5年2月22日(水)午前10時から
- ・場所 有鄰館 ゲストルーム
- ・内容 東分署分署長講話
無線式連動型住宅用火災警報器の説明
消火器の説明
総務省消防庁の動画放映



防災イベント(地区住民へ動画を放映)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の普及・啓発に関する取組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
文化財の保護に対する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリーカレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるよう取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年10月20日の「近代化遺産の日」記念事業として全国的に近代化遺産一斉公開を行っている。令和4年度は市内各所で活用されているノコギリ屋根工場をはじめとする近代化遺産30ヶ所を紹介し、買物や食事、染織体験等を通じて、文化財施設の周知・活性化を目指した。
・桐生明治館では、「桐生明治館開館記念日」「県民の日」「文化財保護強調週間」などに入館無料とし、多くの市民が文化財に親しむ機会となった。期間中の入館者は494人であった。
・講座事業については、要望により、市の文化財を広く紹介するなど「出前講座」として実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく。

状況を示す写真や資料等

近代化遺産の日記念事業「近代化遺産全国一斉公開2022 in 桐生」 桐生明治館他の30施設を紹介



森合資会社



桐生明治館(旧群馬県衛生所)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
草木染シャツなどずらり 藍工芸たむら織物記念館で企画展	令和4年4月13日(水)	桐生タイムス	
BS日テレ連動の「神業ミュージアム」来月25日オープンへ	令和4年5月11日(水)	桐生タイムス	
新市史、始動	令和4年5月27日(金)	桐生タイムス	
来年度以降に備えみこし点検桐生祇園祭	令和4年5月27日(金)	桐生タイムス	
「旧眞尾邸」今月中に着工	令和4年6月7日(火)	桐生タイムス	
祇園の灯消すな3年ぶり「衣裳合わせ」	令和4年6月13日(月)	桐生タイムス	
観光大使7年ぶりの出張本四の祭礼人形素戔嗚尊	令和4年6月15日(水)	桐生タイムス	
神業のまち桐生「ミュージアム」開幕	令和4年6月25日(土)	桐生タイムス	
来年の再開願って	令和4年7月21日(木)	桐生タイムス	
獅子舞の伝統つなごう 黒保根を挙げて存続支援を	令和4年8月25日(木)	桐生タイムス	
26～36年度に全15巻刊行を 新編桐生市史計画案示す	令和4年8月26日(金)	桐生タイムス	
来年こそ通常開催を 桐生祇園祭	令和4年9月12日(月)	桐生タイムス	
新桐生市史普及版の刊行も検討へ	令和4年10月14日(金)	桐生タイムス	
戻りつつある日常 週末、各地でイベント	令和4年10月17日(月)	桐生タイムス	
えびす講3年ぶり2日間開催	令和4年11月8日(火)	桐生タイムス	
「103歳の現役会館」桐生倶楽部を知る	令和4年11月8日(火)	桐生タイムス	
鍛錬の音 境内に再び 3年ぶり天満宮で禊祭	令和4年11月28日(月)	桐生タイムス	
市史編さん計画案答申通りに決定	令和4年12月10日(土)	桐生タイムス	
桐生の町どうつくられた？	令和5年1月21日(土)	桐生タイムス	
歴史的風致形成建造物に標識寄贈	令和5年2月10日(金)	桐生タイムス	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生祇園祭が中止になるなど未だに新型コロナの影響が残る中、桐生えびす講や桐生市歴史まちづくり講演会が3年ぶりに通常開催されたほか、新市史の編さんや「旧眞尾邸」の公開活用施設としての整備が着工する等新たな歴史まちづくりに関する取り組みがスタートとしたほか、BS日テレ放送の「神業ミュージアム」と連動した企画が市内各所で行われ、多くの人でにぎわうなど、これまでの賑わいが戻りつつある。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

歴史まちづくりに関する取り組み等に関する情報を引き続き収集するとともに、市民が歴史まちづくりに興味を持っていただけるよう積極的な情報発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等



令和4年6月7日付
桐生タイムス



令和4年11月8日付
桐生タイムス



令和5年1月21日付
桐生タイムス



令和5年2月10日付
桐生タイムス

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

市民団体等との連携について

計画に記載している内容 文化財の保存活用に関わり、地域住民が主体となって組織されている各団体との連携強化や官民協働による保存活用を図るとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内には、文化財の保存・活用に関わる市民団体等が多数あり、これらの団体との連携を図ることで、歴史的風致の維持、向上へ繋げており、計画認定後は、ファッションタウン桐生推進協議会、“織都桐生”案内人の会と連携した取り組みを行い、市民へ向けて本市の歴史や文化に対する情報発信を行い、保存活用の機運醸成を図りつつ、歴史的風致の維持、向上を図っている。

ファッションタウン桐生推進協議会は、「織都・桐生」が育んだ歴史、文化、風土をいかした“まちづくり”を行うファッションタウン事業の推進母体として発足した組織で、現在の会員数は100名を超え、写真コンテスト等のまちづくりに関連した様々な活動を行っている。主な連携した取り組みとしては、市職員の会議への出席や、市民を対象にしたバスツアー(H30、R1)とまち歩きツアー(R3,R4)を市との共催事業として実施している。共催したツアーは、受付を開始してからすぐ定員に達してしまうことも多く、リピーターになる方もいる程の人気の、行程には、歴史的風致形成建造物や市内に点在する歴史的遺構の見学等を組み込んでもらっている。

“織都桐生”案内人の会は、桐生の観光ガイド組織として発足し、40名を超える会員で組織され、重伝建地区を中心に、お客様の要望に沿った案内を行っている。主な連携した取り組みとしては、講演会とセットにした散策ツアー(R1)や歴史的風致を巡る散策ツアー(R2)を市との共催事業として実施している。その他、会としての取り組みとして、オンラインによる桐生散策が楽しめるよう、令和3年度から桐生市観光物産協会のYouTubeチャンネルでの動画配信、自主企画ツアー等を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

ファッションタウン桐生推進協議会と“織都桐生”案内人の会との更なる連携強化を図りつつ、他の団体とも連携した事業を実施出来るよう情報交換等を行いながら、歴史的風致の維持、向上を図れる企画等を検討する。

状況を示す写真や資料等

●ファッションタウン桐生推進協議会



R4まち歩きツアーの様子

わがまち風景賞まち歩きツアー

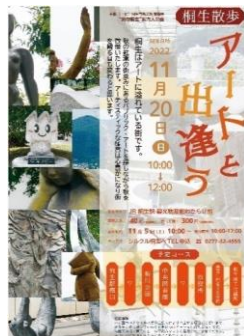
桐生の歴史や文化を感じる名所と「わがまち風景賞」を受賞した物件を巡る、まち歩きツアーを実施します。
令和4年度は「歴史+産業+観光=桐生」をテーマに、旧細谷家住宅をはじめ、歴史的な物件の整備・利活用が活発な横山町、豪華な和洋折衷住宅の旧須藤邸、明治期の織物工場の姿を残す後藤織物など、今後の保存と利活用が期待される物件を巡ります。※徒歩での散策が中心となりますので、歩きやすい靴・服装でご参加ください。
期日=10月30日(日)
時間=午前9時15分～午後4時(予定)
集合場所=未来へはばたけ 山田製作所桐生が岡 動物園南門前(女神像付近)
見学場所=動物園周辺、横山町周辺(旧細谷家住宅)

宅)、旧須藤邸、後藤織物(予定)
募集人数=20人(先着順)
費用=2,500円程度(昼食代・保険料など) ※当日徴収します
申し込み=10月6日(木)から、電話(土、日、祝日を除く午前9時～午後5時)で、桐生商工会議所(☎45-1201)へ。
問い合わせ=桐生商工会議所(☎45-1201)、都市計画課歴史まち・街路係(☎内線745)



R4まち歩きツアー募集案内(広報きりゅう10月号)

●“織都桐生”案内人の会



R4自主企画ツアー(チラシ)



Youtubeチャンネル

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: 令和5年3月22日(水)14時~15時	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用地域計画等策定事業について、文化財保存活用地域計画について出来るだけ早く具体的な計画案等の検討を要望する。 ・本町通りへ接続する市道4路線の整備について、課題の検討をおこなっているのか。また、買場通りには本町通りにあった水路に掛かっていた橋の石が中央に敷いてあり、現在はオブジェの様になっているが、敷いてある石には歴史があるので、それをどうするのか。さらに、美装化を予定している道路は、町立ての時からあった道路と後から出来た道路とそれぞれ異なる歴史があると思われるので、本町通りと同じ仕様で整備しても良いのか。例えば、同じ色合いでもブロックの大きさを変える等、歴史を感じさせるような整備方法でも良いのでは。 ・安全性を確保しつつ歴史的な遺構を残していけるのか。また、歴史が違うということに対して、県の整備に合わせるのではなく、市なりの検討が必要。 ・共通性を持たせるにしても、時代背景の要素を取り入れてみてはどうか。 ・コンサルタントが設計を行うと、歴史的なことを何も考えず、安全で綺麗な道路であれば良いという発想になってしまうので、歴史的なことをしっかり理解してもらえるよう事務局からしっかり指示をしてもらいたい。 ・歴史的風致形成建造物(候補)の現地調査を今後も進めるとともに、特に重点区域内の歴史的建物の維持や利活用についての情報発信やマッチング相談などをより積極的に取り組むことを期待する。重伝建地区をコアとした歴史的町並みの厚みにもつながると思われる。 ・委員を委嘱されたばかりで、本協議会の全体の目的がはっきりしていない。また、各事業間のつながりがどうなっているのかもわからない。できれば、これらのことを図示した資料を提供していただければ有り難い。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用地域計画等策定事業について、具体的な検討を早期に進められるよう担当課と情報共有を行うなど、連携を図っていく。 ・本町通りへ接続する市道の整備にあたっては、安全性の問題等について、今後設計を行う段階で調査等を行う中で検討する。 ・歴史まちづくりに対する情報発信を積極的に行っていく。 ・協議会の目的等を理解していただくための資料作成や委員に対する説明を行っていく。 ・今回いただいたご意見等を関係部署と共有し、事業の見直し等を推進していく。 	